

インクルーシブな子ども広場とは・・・

これまでの福岡市のユニバーサルデザインに関する取り組み

2011年から「みんながやさしい、みんなにやさしい ユニバーサル都市・福岡」の実現に向けて、市内の様々な場所でバリアフリーやユニバーサルデザインに取り組んでいます。

- ・バス停付近のベンチや車いすでも通りやすい改札口、ノンステップバスの導入支援
- ・公園では、段差の解消や移動しやすい園路、トイレなどのバリアフリー化など、ユニバーサルデザインを踏まえた整備
- ・設計段階からワークショップや住民説明会などにより、地域住民と共働の公園づくり

現状の公園が抱える課題

遊具や遊び場などの子どもの遊びについては取り組みが不十分な状況であり、誰もが真に利用しやすい公園とするためには、単に遊具や広場空間を使いやすくするだけではなく、現在利用しにくいと感じている当事者の思いを汲み取り、障がいの有無に関わらず様々な特性の子どもに対応していくために、既存の公園とは異なる新たな発想で公園整備を行うことが求められています。

福岡市の公園整備に関する近年の取り組み

そこで福岡市では、ワークショップやアンケート、仮設遊具を設置した実証実験で、これまで子どもを公園で遊ばせられなかった保護者のご意見も伺いました。また、有識者や障がい当事者を招いた検討委員会を経て、令和5年1月に「インクルーシブな子ども広場整備指針」を策定しました。現在、この整備指針に基づき、インクルーシブな子ども広場の整備を順次進めています。

インクルーシブな子ども広場とは

誰もが お互いを理解し
安心して笑顔で
自分らしく遊ぶことができる場所

であり、そのためには、

子どもの特性に応じた
選択肢があることが必要

です。

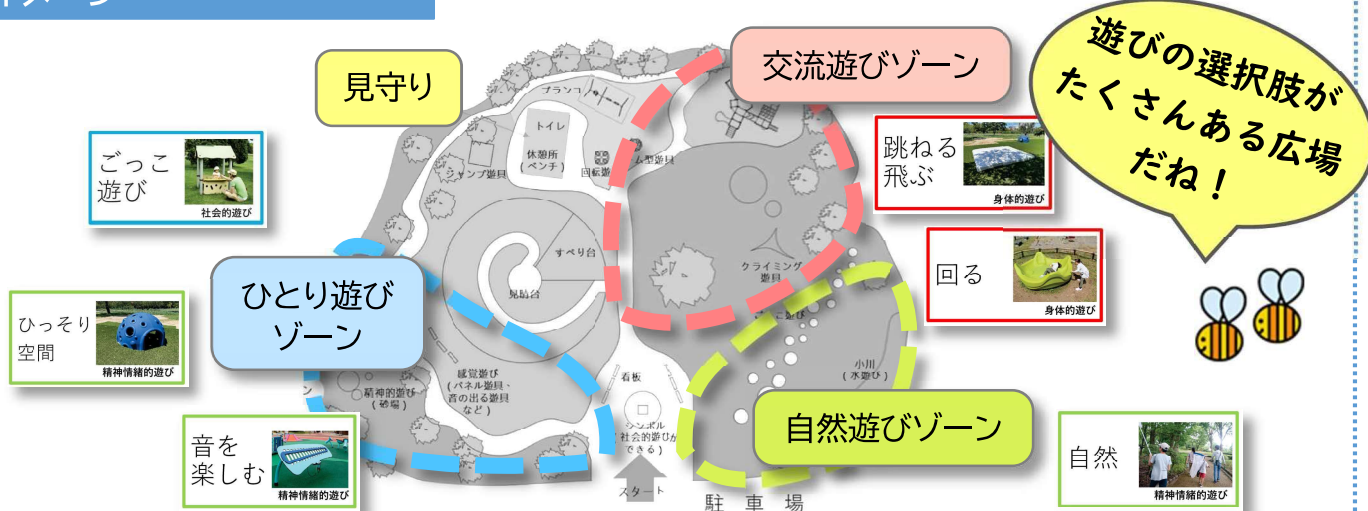
☞ 「整備にあたっては様々な配慮が必要」

です。

- ①「遊びのゾーン」と「遊びの種類」が選べる
- ②周辺施設：見守り、アクセス、安全性、情報環境



インクルーシブな子ども広場 イメージ



資料：「インクルーシブな子ども広場整備指針」を加工

ワークショップの流れ

@アイランドシティ中央公園ぐりんぐりん

【第1回】「現地確認とアイデア出し」

R6.12.14(土)10:00-12:00

- ・子ども広場が目指す姿を共有
- ・現地を確認
- ・公園の良い所、悪い所を出し合う
- ・公園でしたいことを出し合う



【第2回】「基本プランの作成」

R7.1.11(土)10:00-12:00

- ・現在の利用状況を確認
- ・整備方針、イメージを共有
- ・基本プランを考える



【第3回】「プランのまとめ」

R7.2.2(日)10:00-12:00

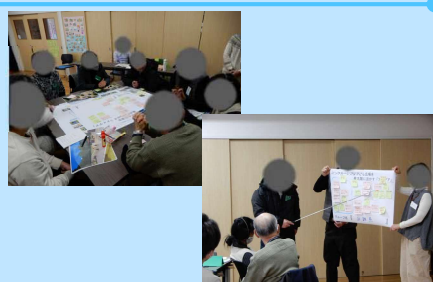
- ・事務局プランを確認
- ・事務局プランをブラッシュアップ



【第4回】「最終プランの確認」

R7.2.22(土)10:00-12:00

- ・事務局最終プランを確認
- ・最終プランをブラッシュアップ
- ・管理運営を考える



写真：令和5年度西南杜の湖畔公園
インクルーシブな子ども広場づくりワークショップ